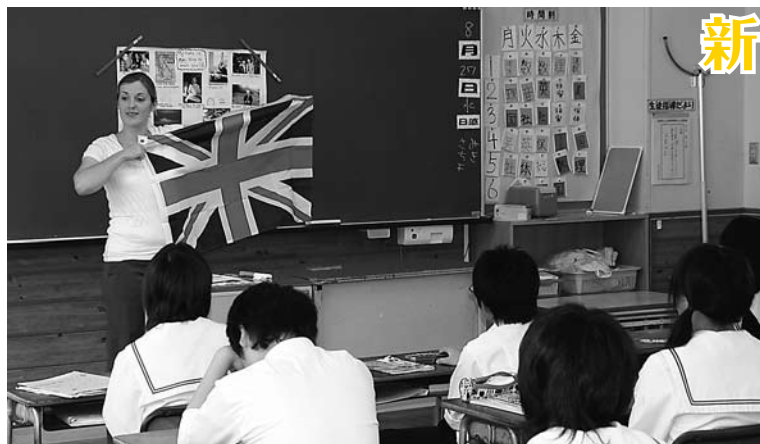




新しい英語指導助手に マリさんが着任

飯館中学校の新しい英語指導助手として、マリ・グエンシアン・ロバーツさん（イギリス出身）が8月初旬に着任され、2学期の授業から活動しています。みなさん、よろしくお願いします。



Hello! My name is Mari Roberts. I recently moved to Iitate Mura to become an assistant Language teacher in your schools. I come from a small village in North Wales in the UK. My village is also close to the mountains so Iitate will feel like a home for me.

I am 21 years old and just completed my degree in Economics at Sheffield University. I came to Japan because I visited in 2003 for ten days.

I participated in a homestay in Takasaki, Gunma prefecture, and then traveled through the south of Japan visiting Kyoto, Hiroshima, Miyajima, and Kobe.

My visit was so short but I enjoyed it so much I wanted to return to Japan and be able to immerse myself in the culture and learn the language.

I have already participated in the Itoi Bon festival, an experience that I enjoyed and it'll honour very much, I miss the Yukata!

I would like to thank everyone for their warm welcome, and I look forward to participate in activities in this beautiful village over the coming year.

はじめまして！ マリ・ロバーツです。

先日、飯館村の英語指導助手として赴任したばかりです。出身はイギリスで、北ウェールズ地方の小さな村で育ちました。私の故郷も山々に接しているので、飯館村に似ています。まるで自分の村にいるようです。

私は今21歳で、先月シェフィールド大学を卒業したばかりです。大学では経済を専攻しました。日本には2003年に10日間滞在したことがあります。その時は群馬県の高崎市でホームステイを体験し、その後京都、広島、宮島、神戸等を旅行しました。

10日間はあっという間でしたが、とても楽しく、その時から私は「又日本へ行きたい。」と願うようになりました。日本に住み、文化に触れ、そしてその言葉を学びたいと思ったのです。

飯櫃の盆踊りにも参加し、とても楽しい時間を過ごすことができました。私にとって特別な思い出になりそうです。浴衣も大好きになりました！

私を温かく迎えて下さった皆様に心から感謝するとともに、これからこの美しい村で、様々な活動に参加できることをとても楽しみにしています。



▲練習風景

今回から始まったこのコーナーは、村内の各団体を紹介していくものです。第1回目はバドミントンクラブを紹介いたします。

Q どんな方が対象ですか
A どなたでも参加できます。バドミントンの好きな人や健康増進のためなど、会員も中学生から一般の方、初心者・経験者までさまざまです。

Q バドミントンの魅力
A 相手のコートに狙ってスマッシュが決まったときの「やったー！」と言う瞬間です。屋内スポーツなので、年間を通してプレイできるのも魅力です。



▲ルールがわからなくても経験者が教えてくれますよ

活動日 毎週月曜日
時間 午後7時から
場所 柔剣道場
問い合わせ先 公民館
電話 42-0072

までいっつないでサークルリレー 第1回 バドミントンクラブ

Q 村民へのメッセージ
A 和気あいあいとしたクラブです。興味のある方、今までのためらっていた方も無料の「おためし入会」してみませんか



▲6月に行われた会議の様子

- ①早ね・早おき運動を全世帯ですすめます。
- ②朝ごはんをしっかりと食べさせて、子どもの健康を守ります。
- ③食を通して家族の和、地域の和を広めます。

「飯館村早ね・早おき・朝ごはん運動推進本部」を設け、学校、地域、行政の代表15名の委員を中心に、次の3つの取組みを進めています。

これを受け、村は昨年度から「早ね・早おき・朝ごはん運動推進の村」を宣言し、この運動推進のために「飯館村早ね・早おき・朝ごはん運動推進本部」を設け、学校、地域、行政の代表15名の委員を中心に、次の3つの取組みを進めています。

夜更かしによる朝寝坊などから、朝ごはんを食べずに登校する児童生徒が飯館村にもいます。

このような生活習慣の乱れは、学校では居眠りや空腹現象を引き起こし、学習意欲の低下の要因にもつながっているといわれています。

また、委員が学校・家庭、行政の3部会にわかれ、取組みを実施しています。

学校部会：自分で作る弁当の日、食育授業の設定。

家庭部会：朝ごはんの定義、起床時間、就寝時間のめやすの設定。

行政部会：看板、ポスターの作成、運動の普及活動の推進など。

今年度も3部会が連携しあいながら、学校、家庭、地域において、運動が浸透していけるよう、取り組んでいきます。



シリーズ 早ね・早おき・朝ごはん運動

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

規範意識2

調査は、学校内の規範意識として、学校をさぼる、髪の毛を染めて登校する、授業開始のチャイムが鳴っても席につかない、授業中関係ないおしゃべりをしている、学校のものをこわす、などの項目に対して、「してもかまわない」「しないほうがよい」「してはいけない」「絶対してはいけない」の4段階の選択をすることになっていました。

小学生は、4年生以上が調査の対象になっており、全般的に「してはいけない」の答えが多く、かなり高い規範意識を示しています。

中学生は、小学生より全体的に規範意識が低くなり、特にさぼる、席につかない、おしゃべりは、かなり問題を抱えているようです。

高校生はさらに規範意識が低くなり、さぼる、席につかない、おしゃべりは、相当に許容的です。なお、こわしてもかまわないとする男子高校生が相当数いるには驚きです。

中・高校生とも、ごく一部を除いて、倫理観や学習に関する意識が低いように思われます。飯館村の大切な教育の課題です。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野和夫

※相談の申込は飯館中学校教頭まで（電話42-0008）